

根室市誕生とともに歩んで



川上 ただす さん
(市内宝町)

市制施行五十年と私の生まれた年が同じことに、何か感じるものがあります。

私の記憶を思い起こすと、馬車が砂利道を通り、自動車もS1で煙をはきながら家のそばを走っていました。洗濯物や鯉のぼりが真っ黒になったことを良く覚えています。今とは、生活スタイルが随分違っていました。その頃は子どもの数も多く、小学校も新たに成央小学校が新設されましたが、体育館が無く体育の授業を廊下で行ったことなども、楽しい思い出となっています。

その当時から、根室の一大イベントといえば金刀比羅神社例大祭でした。多くの夜店が並んでいた光景が今も思い出されます。現在では、味覚の根室を代表する「かに祭り」や「さんま祭り」が賑やかに開催され、新しい根室の子どものたちの思い出の一つとなることに間違いはないでしょう。

また、根室といえば北方領土問題があります。今はロシアの方々が街を歩く姿を目にすることも多く、共存が根室の発展につながることは言うまでもないと思います。しかし、半世紀以上が経ち未だに解決しない領土問題が、早期に解決することを心から願っています。

根室の産業においても、独自のブランド製品



瀧本 美根子 さん
(市内双沖)

八月一日は私の誕生日でもあり、市制施行の日と一緒の日とあって忘れられない日です。私のほかにもお二人の方がいたと聞いておりますが、まだ名前の決まっていない私に、当時の西田市長職務執行者が「美しい根室の子」と名を付けてくれました。そんなこともあって、根室市に対する思いは人一倍です。

当時は根室の街中に住んでいましたが、二十七年前に結婚して双沖に来て、家業の昆布漁に従事しました。嫁いだ年には、貝殻島周辺昆布漁が五年ぶりに妥結し、九月の出漁となったことを覚えています。今でも、昆布漁は大変厳しい状況が続いています。安全操業と操業時期を逃すことのないように、これからの交渉関係に期待をしたいと思っています。

幼い頃の私の記憶には、街は賑わい、港は活気が満ち溢れていました。二百海里問題や人口の減少などで、少し寂しい感じを受けることがあります。でも、歴史ある祭りの継続や新しいイベントの開催などは、根室を盛り上げていくというたくましく美しい根室市民の熱意が伝わってきます。

根室の一番の自慢「自然」と、どこにも負けない「新鮮な味覚」は、根室観光の目玉であることは間違いありません。北方領土を望む納沙

市制施行50周年記念コンサート 海上自衛隊 大湊音楽隊演奏会

平成19年9月12日(水)
開演 午後6時30分



▼場所 根室市総合文化会館大ホール
▼曲目 行進曲「ボン・ボヤージュ」、ミュージカル「キャッツ」よりメモリー、ラプソディー・イン・ブルーほか

▼問合せ 市役所総務課総務係
☎(23)6111番(内線2222)

※入場には整理券が必要です。(8月中旬に配付予定。詳細は新聞等でお知らせします)

市制施行50周年記念 NHK釧路放送局開局70周年記念 「BSふるさと皆様劇場」 公開録画

▼日時 平成19年9月17日(月・祝日)

開場 午後5時
開演 午後6時

▼会場 根室市総合文化会館大ホール
▼主催 NHK釧路放送局・根室市